
国際資本市場協会（ICMA）1年次総会・カンファレンスの模様について

日証協・平成 28 年 5 月 18 日～20 日

国際資本市場協会（ICMA）の第 48 回年次総会・カンファレンスが、去る 5 月 18 日～20 日にアイルランドのダブリンにおいて開催された。会議の概要は以下の通り。

1. 開催期間：2016 年 5 月 18 日（水）～20 日（金）

2. 開催地：アイルランド ダブリン

3. 参加者：ICMA メンバー他 約 900 名

4. 会議の概要（ポイント）

- 今年のカンファレンスでは、引き続き低成長が続く欧州経済を背景に、低金利・ネガティブ金利の金融・資産運用ビジネスへの影響、成長・雇用促進に金融資本市場が果たす役割、特に EU が 2019 年に導入を目指す Capital Markets Union (CMU: 資本市場同盟) の機能や導入に向けた課題、公共セクター債務が世界的に増大していることの含意、実施段階に入った欧州における規制改革、グリーン・ボンド等環境を重視したファイナンスの動向等が議論された。議論の概要、プログラムは次ページ以降参照。
- 本協会は協賛団体として支援を行い、会議アプリの広告掲載、展示エリアでの日本証券サミット DVD の上映、協会資料等の配布を行った。

5. 次回総会の予定

次回総会は、2017 年 6 月にスウェーデン スtockホルムで開催されることがアナウンスされた。

¹ ICMA は欧州を中心に世界約 60 カ国 470 の金融機関が加盟する国際団体。本拠地はチューリヒ及びロンドン。スイス及び英国当局から自主規制機関と認められている。本協会との間で 2008 年 1 月、相互協力に関する覚書 (MoU) を締結し、2008 年、2013 年及び 2015 年の 3 度にわたり日本証券サミット（いずれもロンドンで開催）を共催した。

6. カンファレンスでの議論の主なポイント

5月18日(水)

| | |
|---------------|--------------|
| 19:30 - 23:00 | ウェルカム・レセプション |
|---------------|--------------|

5月19日(木)

| | |
|---------------|--|
| 8:00 | 登録・展示開始 |
| 9:00 - 11:30 | ICMA 年次総会 (ICMA メンバー限定) |
| 13:00 - 13:05 | 開会挨拶: Spencer Lake 国際資本市場協会 (ICMA) 理事会議長 |
| 13:05 - 13:20 | 開会の辞: Michael Noonan アイルランド財務大臣 |
| 13:20 - 13:35 | <p>基調講演: 「投資ファンドと国際的な資金フロー」 Phillip Lane アイルランド中央銀行総裁</p> <p>国際的に活動する投資ファンドは、市場ベースのファンディングの拡大や投資機会・リスクの多様化など金融資本市場で大きな役割を担っている。欧州における資本市場同盟がスタートすれば、域内の資金フローの活性化に一層貢献することが期待される。これらファンドの機能が健全に発揮されるためには、クロスボーダーの規制上の障害の除去を進める一方で、当局が協力して適切なモニタリングの枠組みを設けることが重要である。</p> |
| 13:35 - 14:35 | <p>パネル: 「国際資本市場の発展」 司会: Spencer Lake, Chairman of the Board, ICMA and Vice Chairman of Global Banking and Markets, HSBC Bank plc パネリスト: Dr. Frank Engels, Managing Director, CIO Fixed Income, Union Investment Privatfonds GmbH Atunma Oteh, Treasurer, The World Bank Jean-Michel Six, Chief Economist, EMEA, S&P Global Ratings Yu Sun, General Manager, Bank of China Marc Tempelman, Co-Head of Corporate Banking & Debt Capital Markets (EMEA), Bank of America Merrill Lynch</p> <p>世界各地に経済的・政治的な不安定要因が存在し、中央銀行がQEを続ける中でマネタリーベースが大幅に拡大した。中国では、人民元の国際化や市場の開放が進む一方で様々なリスクが増大している懸念がある。資本市場は引き続き貧困削減、雇用・成長の促進に大きな役割が期待されているほか、各国の財政がひっ迫する中で将来のショックを吸収・緩和する役割も期待されている。そのためには、官民が協力して市場の発展、安定の維持を図るほか、新たな金融技術を導入して、市場オペレーションの効率性を一層向上させる努力が必要である。</p> |
| 15:05 - 15:35 | <p>対話: 「ESMAにおける2016年以降の主要な優先事項」 Robert Gray, Former Chair, ICMA Regulatory Policy Committee, ICMA Steven Maijor, Chairman, European Securities and Markets Authority 欧州証券市場監督機構 (ESMA) 長官の Steven Maijor 氏が、実施段階に入っ</p> |

| | |
|---------------|--|
| | た欧州における証券市場規制改革の現状、MiFID II 及び MiFIR の実施に向けた Technical Standards について説明するとともに、有効かつ適切なデータを trade repository や CCP を通じて徴求する報告制度の整備が喫緊の課題となっていることを指摘した。 |
| 15:35 - 15:50 | <p>基調講演「欧州資本市場の次の段階への移行」 Ugo Bassi 欧州委員会金融安定・金融サービス・資本市場同盟担当局長</p> <p>金融危機後欧州当局の最大の関心は金融市場の安定を図ることであったが、現在は成長に向けた投資の促進にフォーカスが移りつつある。一方で、欧州の資本市場は、実体経済のための資金供給、特に SMEs やインフラ・プロジェクトへのファイナンスに十分貢献していないとの批判を受けている。資本市場同盟は、欧州全体の資金需要と投資家の様々なニーズをマッチさせ、スタートアップ企業やベンチャー・ファンドへの機動的な資金供給、インフラへの長期投資の促進、投資家へのより幅広い投資機会の提供、クロスボーダーの資金移動に係る障害除去等の効果が期待される。</p> |
| 15:50 - 16:50 | <p>パネル：「債務の役割とその遺産」 司会：Keith Mullin, Editor-at-Large, International Financing Review (IFR) パネリスト： Dr. Nariman Behravesh, Chief Economist, IHS Brian Coulton, Chief Economist, Fitch Ratings Donal Galvin, Head of Treasury, Allied Irish Bank Professor Charles Goodhart, Emeritus Professor of Banking & Finance, London School of Economics</p> <p>国毎に状況に違いはあるものの、世界全体で債務/GDP 比率は上昇しつつある。日本では公共セクターの債務の増大が著しく、米国では家計の債務が増加している。中国は、不動産バブルの兆候もあり、特に民間非金融事業法人の債務が急増している。債務残高の危険レベルについて明確かつ画一的な基準は存在しないが、ここまで増大した債務は明らかに次世代に負担を強いるものであると同時に、赤字を抱えた政府は財政出動の余力をなくし、ショックを吸収する能力が低下する。</p> |
| 16:50 - 17:05 | <p>基調講演：「The Journey」 Neil Sorahan Ryanair 社 最高財務責任者</p> <p>アイルランドの格安航空会社であるライアンエアーの最高財務責任者 (CFO) が、徹底的なコスト削減による格安運賃を武器に、欧州の格安航空会社の中では最大の航路ネットワークを展開するに至った同社の経営・財務戦略を紹介した。</p> |
| 17:05 - 17:15 | 閉会の辞：Martin Scheck 国際資本市場協会 (ICMA) チーフ・エグゼクティブ |

5月20日(金)

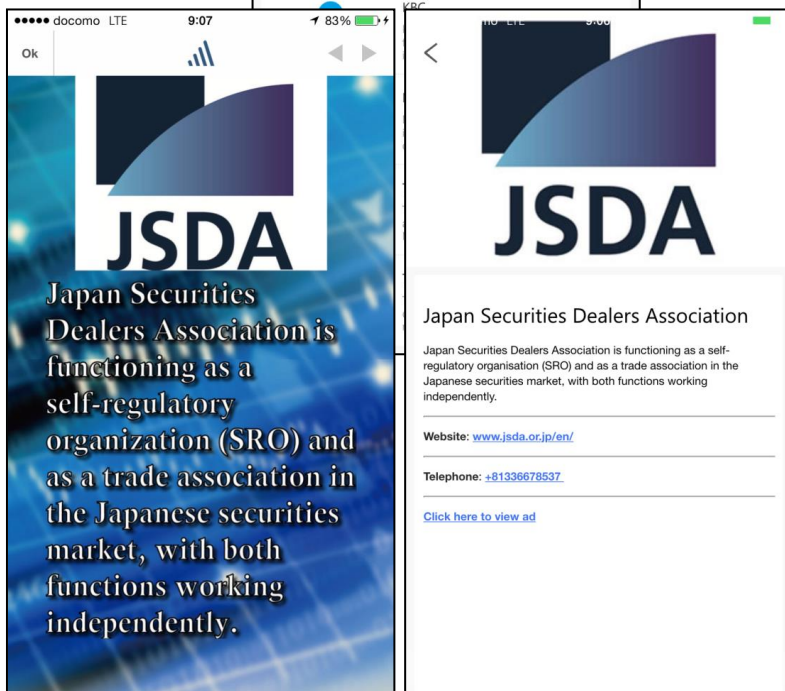
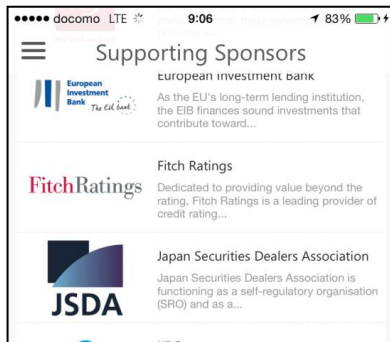
| | |
|-------------|--|
| 8:00 | 展示開始 |
| 9:00 - 9:05 | 開会の辞：Martin Scheck 国際資本市場協会 (ICMA) チーフ・エグゼクティブ |

| | |
|---------------|---|
| 9:05 - 9:20 | <p>基調講演：「適正な金融規制」 Kay Swinburne 欧州議会議員・経済金融委員会委員</p> <p>英国ウェールズ選出の欧州議会議員である Kay Swinburne 氏が、欧州における金融規制改革の動向及び残された課題についてプレゼンテーションを行った。この中で同氏は、MiFID II の策定過程では市中協議を通じ多くの修正を行ったが、今後も複数の規制がもたらす複合的な影響をレビューして必要に応じて修正を行うべきこと、欧州と米国のデリバティブ規制の間にはまだ乖離が存在すること、ポスト・トレードのデータ徴求の枠組みについてデータの中身を含めて検討すべき点が残っていること等の課題を指摘した。</p> |
| 9:20 - 10:10 | <p>パネル：「資産運用業の世界的動向」 司会：Robert Parker, Senior Advisor - Investment, Strategy and Research, Credit Suisse パネリスト： Elizabeth Corley, Vice Chair, Allianz Global Investors Nannette Hechler-Fayd'Herbe, Head of Investment Strategy, Credit Suisse International Wealth Management Isabelle Mateosy Lago, Global Macro Investment Strategist, BlackRock Hans Stoter, Chief Investment Officer, NN Investment Partners</p> <p>ネガティブ金利もしくは非常に低金利環境下で資産運用業は様々な困難に直面している。収益を確保するため、より戦略的なアセット・アロケーションを行い、リスク分散を図りながら資産の多様化を進めている。一方で、マネーベースが急激に拡大したためアセット・バブルにも警戒しなければならない。高利回りの環境下では、運用報酬や手数料について顧客から不満は出にくいだが、現状は極めて厳しい状況にある。他方、特に欧州の機関投資家や顧客は最近 ESG 投資への関心を強めており、資産運用業者もこの種の投資を増やしているが、収益を最大化すべき受託者としての義務とどう両立させるのかさらに検討を要する部分も残っている。世界的な人口動態の変化、高齢化の中で、資産運用業の責任は増大しており、現在の困難な環境下でも適切に機能することが求められている。</p> |
| 10:20 - 10:35 | <p>基調講演：「Investing for Net Zero:資本市場の課題」 Myles Allen オックスフォード大学ジオシステムサイエンス教授</p> <p>欧州では、Net Zero（消費する化石燃料に相当する、もしくはそれを上回る再生可能エネルギー等のエネルギー代替を確保するシステム・社会を構築しようとする考え方）や気候変動への対処に対する関心が高まっている。1980年代と比較しても既に地球の気温は0.5度以上上昇しており、CO2削減に役立つプロジェクト・技術への資本市場を通じた投資が拡大することが期待される。</p> |
| 10:35 - 11:25 | <p>パネル「グリーン・ボンド」 司会：Suzanne Buchta, Managing Director, Global Head of Green Bonds, Bank of America Merrill Lynch パネリスト： Bernardo Alfaro, Deputy CEO, Banco Nacional de Costa Rica</p> |

| | |
|---------------|---|
| | <p>Bertrand de Mazières, Director General, Finance, European Investment Bank Manuel Lewin, Head of Responsible Investment, Zurich Insurance Company Group Philippe Zaouati, Chief Executive Officer, Mirova</p> <p>欧州では、2007年に欧州投資銀行が初めてグリーン・ボンドを発行して以降、徐々に市場が拡大している。国際資本市場協会（ICMA）では、より公正かつ効率的なグリーン・ボンドの発行・流通を図るため、Green Bond Principlesを発出した。グリーン・ボンド市場の健全な発展には、このような基準に準拠しながら、商品組成・発行手続における透明性、グリーン・ボンドの対象としてのプロジェクトの適格性を確保することが不可欠である。グリーン・ボンドは、新興国でも発行が開始されつつあり、投資家のESGに対する関心と責任を満たすとともに、資産の多様化にも一定の効果が期待できる。</p> |
| 11:55 - 12:45 | <p>パネル「債券市場はどう発展するか」 司会：Sonali Das Theisen, Global Credit Trading, Head of Market Structure & Data Science, Citi パネリスト： Nicholas Bean, Head of Product, Fixed Income Trading, Bloomberg LP Yann Couellan, Head of Trade Execution, Fixed Income, AXA Investment Managers Pauli Mortensen, Global Head of Trading, Norges Bank Deirdre Somers, Chief Executive, The Irish Stock Exchange</p> <p>欧州では、債券市場が成長企業への資金供給の場としてより大きな役割を担うことが期待されているが、最近の市場環境下であまり活性化は進んでいない。電子取引やフィンテックが市場の効率性向上と活性化に役立つとの見解もあるが、未だ模索の段階にある。債券市場への個人投資家の直接参加を拡大することは流動性の問題もあり難しく、ファンド等を通じた間接参加の拡大を目指す方が現実的である。米国では、債券価格即時公表システム（TRACE）が市場の活性化に貢献しているとの考え方が強いが、欧州の市場参加者間では、ポスト・トレードの透明性向上と市場活性化の関係についての議論がまだ収束していない。</p> |
| 12:45 - 13:15 | <p>基調講演「Telling It Like It Is」 Lucy Kellaway The Financial Times</p> <p>FTのジャーナリストが実例に即して、金融商品の説明文書や解説の問題点を指摘した。金融市場のプロフェッショナルは、とかく難しい専門用語を使い、一般の人々が理解できない説明を行っている。これにより、一般の人々を金融市場からかえって遠ざけてしまう、場合によっては反感を持たれてしまう恐れがある。商品の説明や市場の解説には、誰もが理解できる単語を使い、できるだけ平易な説明を心がけることが肝要である。</p> |
| 13:15 - 13:20 | <p>閉会の辞： Martin Scheck 国際資本市場協会（ICMA）チーフ・エグゼクティブ</p> |

7. スマートフォンアプリ掲載広告・展示エリアの様子

【スマートフォンアプリ 掲載広告】



【展示エリアの様子】



【会場の様子】



以 上